

高規格幹線道路（事業中の路線）

■ 中部横断自動車道

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点とし、山梨県甲斐市を經由して小諸市に至る、延長約 132km（うち県内約 45km）の高規格幹線道路で、高速自動車国道として整備が進められています。

北陸・上信越・中央・新東名・東名の各自動車道を相互に連絡し、日本海及び太平洋の臨海部と内陸部の物流を活発にし、広域的観光ゾーンの開発等、沿線地域の産業経済の振興に寄与することが期待されています。

国土交通省が事業主体となり、平成 23 年 3 月に佐久南 IC ～佐久小諸 JCT が、平成 30 年 4 月に八千穂高原 IC ～佐久南 IC が開通し、沿線に様々な整備効果を発揮しています。唯一のミッシングリンクとして残る山梨県長坂 JCT（仮称）～長野県八千穂高原 IC の間は、山梨県と長野県が環境影響評価及び都市計画の手続きを進めています。



八千穂高原 IC 付近

■ 三遠南信自動車道

三遠南信自動車道は、飯田市を起点として、静岡県浜松市に至る延長約 100km（うち県内約 50km）の高規格幹線道路で、国道 474 号の自動車専用道路として整備されています。

中央・新東名・東名の各自動車道を相互に連絡するとともに、南信州地域と三河・遠州地域との時間距離を大幅に短縮することで、観光資源の活用、産業の振興など、県境を越えた広域的な経済・文化圏の構築に大きく寄与するものと期待されています。

県内では、中央自動車道から分岐し飯田市内を横断する飯橋道路と、長野・静岡県境を通る青崩峠道路で、国による工事が進められています。飯橋道路は、飯田山本 IC ～天龍峡 IC 間が平成 20 年 4 月に、龍江 IC ～飯田上久堅・喬木富田 IC が平成 30 年 3 月に、天竜峡 IC ～龍江 IC 間が令和元年 11 月に開通し、残る区間でも工事が進められています。青崩峠道路は、平成 31 年にトンネル本坑工事が着手となり、一日も早い開通に向け工事が進められています。



（仮称）青崩峠トンネル工事写真

■ 中部縦貫自動車道

中部縦貫自動車道は、松本市を起点として岐阜県高山市を經由し福井県福井市に至る、延長約 160km（うち県内約 35km）の高規格幹線道路で、国道 158 号の自動車専用道路として整備されています。

長野・東海北陸・北陸の各自動車道を相互に連絡して、広域ネットワークを形成するとともに、観光振興や物流、災害時の代替性の確保などに寄与する道路として期待されています。

現在、長野自動車道の松本 JCT（仮称）から分岐し、松本市波田地区へ至る松本波田道路の整備が、国により進められています。



扇子田公園付近橋梁工事写真

■ スマート IC

長野県内では、小布施スマート IC、姨捨スマート IC、佐久平スマート IC、梓川スマート IC、小黒川スマート IC、駒ヶ岳スマート IC 及び座光寺スマート IC の 7ヶ所が運用されています。これらに加え、筑北スマート IC が筑北村と NEXCO 東日本により、諏訪湖スマート IC が岡谷市・諏訪市及び NEXCO 中日本により、若穂スマート IC（仮称）が長野市と NEXCO 東日本により、整備が進められています。

●長野県内のスマート IC の概要

スマート IC	設置箇所	所在地	現在の状況	IC 形式
小布施 SIC	上信越道 小布施 PA	小布施町	供用 (H18.10.1～)	フル IC
姨捨 SIC	長野道 姨捨 SA	千曲市	供用 (H18.10.1～)	松本方面・ON 長野方面・OFF
佐久平 SIC	上信越道 佐久平 PA	佐久市	供用 (H19.4.1～)	フル IC
梓川 SIC	長野道 梓川 SA	松本市 安曇野市	供用 (H22.11.27～)	フル IC
小黒川 SIC	中央道 小黒川 PA	伊那市	供用 (H29.9.30～)	フル IC
駒ヶ岳 SIC	中央道 駒ヶ岳 SA	駒ヶ根市	供用 (H30.3.17～)	フル IC
座光寺 SIC	中央道 座光寺 PA	飯田市	供用 (R3.3.28～)	フル IC
筑北 SIC	長野道 筑北	筑北村	事業中	フル IC
諏訪湖 SIC	中央道 諏訪湖 SA	岡谷市、諏訪市	事業中	フル IC
若穂 SIC (仮称)	上信越道 若穂	長野市	事業中	フル IC

■ 筑北スマート IC



令和 5 年内の工事完了に向けて、整備が進められています。